

単元	氏名	年組番
二年 適切にインタビューする	氏名	
		4問

新聞委員の内田さんは、学校新聞の取材のため、教育実習生の川井先生にインタビューすることになりました。内田さんは事前にインタビューの内容についてメモを作り、インタビューに臨みました。メモと実際のインタビューの記録を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インタビューメモ】
先生にお聞きしたいこと
・音楽の先生になりたいか。
・どんな先生になりたいか。
大学ではどんな勉強をしているのか。

内田 先生、お忙しいところ、ありがとうございます。まずお聞きしたいのは、なぜ中学校の先生になるうと思ったのですか。

川井 私は小さいころからピアノを習っていて、音楽が大好きでした。学校の音楽の授業も大好きだったので、中学校の時の音楽の先生にアコガれをもったのがきっかけです。

内田 どんな先生だったのですか。

川井 教科書に載っている以外の曲もたくさん教えてくださったり、文化祭では、ほかの先生とバンドを組んで演奏されたり、とにかく音楽の楽しさをたくさん生徒に伝えてくださる先生でした。

内田 川井先生ご自身はどのような先生になりましたですか。

川井 その先生のように、楽器で音を奏でることの楽しさ、歌うことの喜びを伝えられる先生になりたいですね。

内田 先生は大学四年生だそうです。学校ではどのような勉強をしているのですか。

川井 音楽の実技の練習や、音楽の教え方の勉強をしたり、児童心理の講義を受けたりしています。

内田 いろいろ勉強するんですね。もうすぐ採用試験があると聞きました。川井先生が、採用試験に受かって、四月から私たちの学校の先生として赴任してくださるようお祈りしています。今日はありがとうございます。

川井 ありがとうございます。いい新聞を作ってくださいね。

- (1) 内田さんのインタビューの内容について述べた文のうち、正しいものを次の中から二つ選びなさい。
- ア 川井先生の私生活に踏み込んだ質問をしているので、内容の深いインタビューになっている。
- イ わからないことを率直に質問しているので、そこで話題が途切れてしまい、話の流れを妨げている。
- ウ あらかじめ考えてきた質問を、話題の流れに沿って適切な場所で投げかけている。
- エ 先生がうち解けて話してくれるように、わざと敬語を使わないで話す工夫をしている。
- オ 質問する内容について、事前にわかることを調べてきている。

答 () () ()

- (2) 内田さんのインタビューの中で、主語と述語の対応が不適切な文が一つあります。その文を正しい形に直して書きなさい。 答

- (3) 「どんな先生だったのですか」とありますが、この質問についての説明として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。
- ア 興味本位で聞いていて話の流れを壊している。
- イ 掘り下げた質問をすることで他の質問への足がかりにできる。
- ウ たたみかけるように質問しているので、話し手の気分をそこねる。
- エ 過去のことなので聞いてもあまり意味がない。

答 () ()

二年 放送原稿の内容について 話し合う	単元	年 組 番	5問
氏名			

〇〇中学校の文化祭実行委員会では、文化祭についての注意事項を給食の時間に放送することになりました。放送原稿の下書きとそれをもとにした話し合いの記録を読み、あとの問いに答えなさい。(話し合いの記録の中の番号は各生徒の何回目の発言かを示す。)

<p>皆さん、こんにちは。いよいよ文化祭まであと三週間になりました。各クラスで準備が進んでいることと思います。今日は皆さんに注意があります。それはごみのことです。教室での展示が終わると一度に大量のごみが集まりますが、毎年その量が多すぎて収集車では運びきれず、ごみを置いておく場所がなく、何日間か置きっぱなしになってしまうので困るし、燃えるごみを外に出しっぱなしにしておくことで、火災の心配も出てきます。</p> <p>そこで、今年は計画の段階からごみのことを念頭においてください。毎年、過剰に集めて使われずにそのまま回収される段ボールが大量に出ています。段ボールの収集は必要な分だけにしてください。また、作った作品や展示物をごみに出さずに生かす方法はないか、各クラスで考えてみてください。よろしくお願いします。</p> <p>高田1 これで今年の文化祭のごみは少し減るかな。 佐藤1 減るといいね。でも、この原稿だと、だからからのお知らせかわからないね。 高田2 本当だ、() ① () という一文を入れなくちゃ。 山本1 どこに入れる？ 佐藤2 手紙と同じで最後がいいんじゃない？</p>	<p>阿部1 「皆さん、こんにちは。」の後がいいと思うな。だからのお知らせが先にわかったほうが、聞いている人の関心を引きやすいからね。</p> <p>高田3 そうだね。じゃあ、ここに入れて……と。</p> <p>山本2 先生が、耳から聞く言葉は、目で見える文字よりもわかりづらいので、注意して原稿にするようにと言っていたよ。</p> <p>阿部2 そう言われればそうだね。すると、原稿の中の「ネットウにおく」の「ネットウ」はちよつとわかりづらいな。</p> <p>高田4 「カジョウ」も別の言葉にする？</p> <p>佐藤3 それから、私に気になるのは、最初のほうの「今日は皆さんに注意があります」というところ。ちよつときつい言い方のような気がするな。「皆さんにお願いします」にしたらどう？</p> <p>阿部3 きつい言い方をしたほうが効果があるよ。</p> <p>山本3 なんだかいびつてるみたいでいやだな。やっぱり「お願い」のほうがいいよ。</p> <p>高田5 そうだね。じゃあ「皆さんにお願いします」に変えよう。</p> <p>阿部4 ほかにどこか直すところはあるかな。</p> <p>山本4 「教室での展示が終わると」から始まる一文は長すぎるから、文を分けたほうがいいと思うな。</p>
---	---

(1) () ① () にあてはまる一文を考えて書きなさい。 答 ()

(2) 話し合いの中で、「阿部1」の発言、「佐藤3」の発言について述べたものはどれか。(両解)
ア 前の人の発言を検討することなくその意見に反対している。
イ 自分の意見を述べたうえで理由も付け加えている。
ウ 前の人の発言を無視して、いきなり新しい話題を提示している。
エ これまでの発言をまとめて、話を次に転じている。 答 阿部1 () 佐藤3 ()

(3) 話し合いの中で、敬語を使うべきなのに使っていない部分がある。その部分を一文節で抜き出し、敬語表現に直しなさい。 答 () ()

(4) 山本4 『教室での展示が終わると』から始まる一文は長すぎるから、文を分けたほうがいいと思うな。とあるが、放送原稿のその部分を三つの文に分けて書き直せ。ただし、二つめと三つめの文の最初は、次の『 』の中の言葉から選んで用いること。 『 』のため また しかし つまり ところで

答

単 元	年 組 番	
二年 話す・聞く	氏 名	

敬 語

◎尊敬語＝話し手・書き手が、敬意を表したい相手に対して、直接敬意を表す言い方。

「おっしゃる」「いらっしゃる」「召し上がる」「なさる」「ご覧になる」「くださる」など。

◎謙讓語＝自分(自分の側)の動作をへりくだる(低める)ことで、相手を高め敬う言い方。

「申す・申し上げる」「伺う・参る」「いただく」「いたす」「拝見する」「差し上げる」など。

◎丁寧語＝あらたまった言葉を用いて、話し全体を丁寧にする言い方。

「です」「ます」「ございます」など。

接続する語句

「だから」「しかし」のように、前に述べる内容と後に述べる内容をつなぐ言葉のこと。

◎順接＝前にある事柄が原因や理由になり、後にある事柄がその順当な結論や結果であることを表す。

【 だから・したがって・それで・それゆえ・すると など 】

◎逆接＝前の事柄と逆になるような事柄が、次にくることを表す。

【 しかし・けれども・だが・でも・ところが など 】

◎並列・累加(るいか)＝前にある事柄に対して、後にある事柄を並べたり、付け加えたりすることを表す。

【 それから・そして・また・なお・および・そのうえ・さらに など 】

◎対比・選択＝前にある事柄と、後にある事柄を比べたり、どちらかを選んだりすることを表す。

【 または・あるいは・それとも・もしくは など 】

◎説明・補足＝前の事柄についての説明や補いなどを表す。

【 つまり・ただし・すなわち・なお・なぜなら・例えば など 】

◎転換＝話題を変えることを表す。

【 さて・ところで・では・それでは など 】

接続する語句を適切に使うことによって、前に述べる内容と後に述べる内容の関係を分かりやすく表すことができます。



正しい敬語が使えることは、人と人がコミュニケーションをとるときに、とても大切です。普段の生活でも意識して正しい敬語を使いましょう。



単 元	年 組 番
二年 気持ちを込めて書こう 手紙を書く	氏 名

手紙の書き方を知ろう

改まった手紙の場合、一定の形式に沿って書く必要がある。手紙の書き方の基本スタイルを理解しよう。

一、前文

①書き出し・・・拝啓・謹啓・前略など。

②時候の挨拶・・・時候や季節にあった挨拶を添える。

③安否の挨拶・・・先方の安否をたずね、こちらの安否を述べる。

(例) その後、お元気でいらっしゃいますか。日頃、弟が大変お世話になっております。

二、正文

①書き起こし

(例) さて・ところで・つきましては・このたびは

②本文

手紙の主題部分で、相手に伝えたい用件を述べる。

三、末文

①結びの挨拶

(例) 右ご挨拶まで。まずは用件のみ。皆さまのご健康をお祈りいたします。

②結び・・・書き出しに合わせた結語を書く。

A 謹啓・敬呈 ↓ 敬白・敬具

B 拝啓・拝呈 ↓ 敬具・不一

C 前略・冠省 ↓ 草々・不備

D ごきげんいかがですか ↓ では・ではまた

四、後付 ※それぞれ書く位置に注意すること。

①日付 (年月日)

②差出人

③受取人・・・敬称〃〇〇様 (一般的)・〇〇御中 (会社・団体宛)・〇〇先生

時候の挨拶は、四季折々の風物を折り込んだ、日本の手紙独特の慣用表現です。



受け継がれてきた時候の挨拶は、私たち日本人が誇りをもって大切にしたい言葉ですね。



チャレンジシート② 基本

問題

学習日

年

月

日

単元	二年 気持ちを込めて書く 手紙を書く	氏名	年組番	5問

次の手紙は、中学二年生の鈴木博文くんから渋谷恵一先生にあてたものです。
この手紙を読んで、あとの問いに答えなさい。

①

梅雨明けが待ち遠しい季節ですが、渋谷先生におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。さて、このたびは私たち北九中学校の文化祭でのご講演を快く引き受けてくれて大変ありがとうございました。ところで、先生に当時の学校の様子などをご講演の中でお話しいただければうれしく思います。文化祭でのご講演を楽しみにしておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

敬具

平成二十六年七月十日

②

③

(1) ①および②③に入る言葉として適切なものを次から一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

① ↓ ア 前略 イ 敬白 ウ 拝啓 答① ()

②③ ↓ ア 鈴木 博文 イ 渋谷恵一先生 ウ 梅雨の候

答② () ③ ()

(2) この手紙の用件として最も適切なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 渋谷先生のお体の様子をたずねる。
 - イ 今度、北九中学校で文化祭があることを伝える。
 - ウ 先生に文化祭での講演の中で話してほしい内容を伝える。
 - エ 文化祭で先生に会う喜びを伝える。
- 答 ()

(3) 「引き受けてくれて」を、適切な敬語表現に直しなさい。

単元		年組番		6問
二年 気持ちを込めて書こう 手紙を書く		氏名		

1 卒業した小学校の担任の先生に、近況報告の手紙を書きなさい。

(1) 現在の季節に合った、時候の挨拶を書きなさい。

(2) 別れの挨拶や相手の健康を気遣うような、結びの挨拶を書きなさい。

2 1をもとに、近況報告の手紙を書きなさい。ただし、自分の近況について、事柄の報告だけでなく、感想や考えたことを入れて書くこと。また、 A～Dに入る内容も書きなさい。

拝啓

(解答例)

← (1)時候の挨拶

日ごとに秋も深まってまいりました。○○○先生にはいかががお過ごしでしょうか。

さて、私は中学校での生活にもすっかり慣れ、楽しい毎日を送っております。最近、文化祭に向けてリコーダー・アンサンブル部の練習に励んでいます。担当はアルトリコーダーです。部活動に入ったばかりのころは、他のパートと息が合わずに、なかなか良い演奏をすることができませんでした。落ち込んだこともありましたが、顧問の先生や先輩方に優しく教えていただいて、少しずつ上達してきました。

今では、先輩として一年生を指導する立場となりました。一生懸命に練習している後輩を見ていると、昨年の自分が思い出され、自分もさらにながらなければと気合いが入ります。

← (2)結びの挨拶

朝夕冷え込んでまいりました。先生も、風邪などひかれませぬよう、お身体を大切になさってください。

D

B

C

A

近況報告の手紙を書くときは、わかりやすく具体的に書くように心がけましょう。中学校の行事や学校生活のことを、手紙の相手（小学校の先生）はよくご存じないからです。独りよがりの内容にならないように、気をつけましょう。



単元	年組番
二年 説明的文章を読む	氏名

話題をつかむ

説明的文章を読むときは、まず「何について書かれている文章か」ということを押さえます。特に、次の部分に注目してみましよう。

- ・ 文章の初め
- ・ 「〜でしょうか。」などの呼びかけ
- ・ 何度も出てくる言葉（キーワード）

段落の要点をつかむ

説明的文章では、筆者がその文章で一番言いたいことをつかむために、以下のことに気をつけて読んでみましょう。

- ① 段落ごとの要点（最も言いたい点）を押さえる。
- ② 段落と段落との関連を考え、まとめられるようなら意味段落（似た内容で続くまとまり）としてくくる。
- ③ 文章全体の構成をとらえる。
意味段落としてくくっていくと、それらのブロックが、
 - ・ 具体例に当たる、
 - ・ 具体例からの考え・意見に当たる、
 - ・ 別の面からの筆者の考えに当たる、
 - ・ まとめに当たる、
 などというように、全体の構成が見えてきます。

説明的文章は、序論（問題提起）↓本論（説明）↓結論（意見、主張）という構成になっていることが多いわね。



構成については、結論の位置によって「頭括式」「尾括式」「双括式」という分類もあるわね。二年生の教科書で確認しておきましょう。そして、さまざまな文章を読むことによって、論理展開の仕方や表現の仕方を比較して、自分の文章に生かせるようになるといいわね。



二年 説明的文章を読む	単元	氏名	年 組 番	3問

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

① エコカーとは、窒素酸化物や粒子状物質等の大気汚染物質の排出が少なく、あるいは全く排出しない、かつ燃費性能が優れている自動車です。

② エコカーとしてよく知られているのが、ハイブリッド自動車です。通常の走行時はガソリン自動車と同じですが、減速する時のエネルギーを電気や圧力エネルギーに変えて走行するものです。そのことで、発進や加速、登板時の窒素酸化物や二酸化炭素、黒煙等が減少し、燃費も向上します。

③ また、現在広く普及しているのが、低燃費かつ低排出ガス認定車です。この車は、従来の自動車と同じガソリンを燃料としていますが、排気ガス中の窒素酸化物や二酸化炭素などを削減し、国土交通省の一定の排出基準と燃費基準を満たしています。

④ 電気自動車はバッテリー（蓄電池）に蓄えた電気でモーターを回転させて走る自動車です。このため、排出ガスが一切なく、走行騒音も大幅に減少します。ところが、その電気は発電所で作られた電気を使います。発電所で発電する際にも排出ガスが出ますが、それを考慮しても、窒素酸化物や二酸化炭素は通常の自動車より大幅に少なくなります。

⑤ 天然ガス自動車は、家庭に供給されている都市ガスの原料でもある天然ガスを燃料として走る自動車です。天然ガスは、硫黄分などの不純物を含まないクリーンなエネルギーのため、排出ガスの浄化が容易で黒煙も出ません。さらに、窒素酸化物も大幅に少なく、二酸化炭素排出量もガソリン車に比べ2〜3割少なくなります。

⑥ 最後に、今後期待されるのが直接水素と空気中の酸素を反応させて、燃料電池で発電した電気でモーターを回転させて走る燃料電池自動車です。水素と酸素との化学反応によって燃料電池から発生するのは水だけです。現状では開発コストが高く、自動車メーカー・エネルギー事業者からは二〇一五年から市場に本格導入するとの共同声明が出されています。これらの普及にはまだ時間がかかりそうです。

⑦ 科学技術の向上により、やがて経済的にも環境的にも優れた自動車ができるでしょう。

問1 ⑤段落にある、クリーンなエネルギーとはどういうエネルギーのことか。二十字以内で書きなさい。

問2 この文章の中で、エコカーとして紹介されている車の種類をすべて書きなさい。

問3 走行時に、窒素酸化物や二酸化炭素を排出していない車があると書かれている。しかし、その車も、結果的には、少ないながらも窒素酸化物や二酸化炭素を排出していることになる、とも書かれている。それはなぜか、書いて説明しなさい。

単元

年組番

二年 品詞分類

用言の活用と種類・活用形

氏名

品詞の分類

品詞分類表



用言(動詞・形容詞・形容動詞)の活用

《活用形の見分け方》

○それぞれの単語の後に続く言葉覚えておこう。

- 未然形：「ない」「う」「よう」
- 連体形：「とき」「ごと」
- 連用形：「ます」「た」
- 仮定形：「ば」
- 終止形：「。」(言い切りの形)
- 命令形：「。」(命令する形)

《動詞の活用の種類の見分け方》

- 特殊な活用は2種類：カ変(カ行変格活用)は「来る」の一語
- 五段、上一段、下一段活用は未然形が異なるので、次のようにあとに「ない」を付けて、「な」の前の音で区別する。

- 五段活用 書か(ア)ない
- 上一段活用 起き(イ)ない
- 下一段活用 食べ(エ)ない
- ア段の音に続く
- イ段の音に続く
- エ段の音に続く

《形容詞・形容動詞の活用》

○一種類ずつしかないので、見分け方は次のように整理して覚えよう。

- 形容詞 …… 終止形が「い」で終わる。
- 形容動詞 …… 終止形が「だ」で終わる。

具体的な単語を使って、活用の種類を見分ける練習を繰り返してみよう。



単 元	年 組 番	15 問
二年 品詞分類 用言の活用と種類・活用形	氏 名	

1 品詞の分類

(1) 次の _____ 線部の品詞名を漢字で答えなさい。

- ① 夕日が 沈む。()
- ② 木々は 鮮やかに 紅葉して いた。()

(2) 次の _____ 線部の品詞名を漢字で答えなさい。

- ① わずかな 時間も 惜しんで 練習する。()
- ② あらゆる 国の 人々が 集まった。()
- ③ とても 美しい 光景だ。()



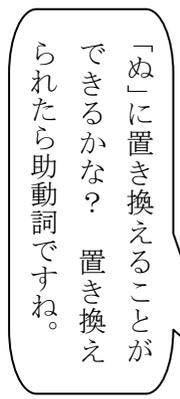
2 動詞の活用の種類及び活用形について

(1) 次の _____ 線部の活用の種類と活用形を答えなさい。

- ① 昨日は、遅くまで勉強した。(種類： () (活用形： ())
- ② 読む本がたくさんある。(種類： () (活用形： ())
- ③ 今日は早く寝る。(種類： () (活用形： ())

(2) 次の文の _____ 線部の「ない」は、ア～エのどの品詞になりますか。

- ① 風邪をひいたので、旅行には行かない。()
- ② 今日は全然楽しくない。()
- ③ 雨が降らないので、ダムには水がない。()
- ④ 今日の部活動の練習時間は少ない。()



- ア 形容詞
- イ 形容動詞
- ウ 形容詞の一部
- エ 助動詞

単 元	二年「いにしへの心を訪ねる」 「漢詩を読もう」	
氏 名	年 組 番	問

漢文の訓読の決まり

訓読 … 白文（漢字のみ）に返り点や送り仮名などの訓点を付けて読む工夫をしたもの。
返り点… 訓読するとき読み方の順序を示すもの。

(例) レ点 ↓ 一字だけに返る場合につける。 一・二点 ↓ 二字以上、上に返る場合につける。
(返り点) (読む順序) (訓読文) (書き下し文)

○ レ点	1	2	3	5	4	ハクシテハスエント	山は青くして花は然えんと欲す
○ 一・二点	1	2	5	3	4	処処聞ク啼鳥ヲ	処処啼鳥を聞く

漢詩の基礎知識

○ 四つの形式

- 1 四行の詩 … 絶句 (ぜっく)
- ① 一行が五文字 … 五言絶句
- ② 一行が七文字 … 七言絶句
- 2 八行の詩 … 律詩 (りっし)
- ③ 一行が五文字 … 五言律詩
- ④ 一行が八文字 … 七言律詩

○ 絶句 (四行詩) の構成

(例) 絶句	杜甫	五言絶句
江碧鳥逾白	↓ 第一句…起句 (話を起こす)	
山青花欲然	↓ 第二句…承句 (話を展開する)	
今春看又過	↓ 第三句…転句 (話を転換する)	
何日是帰年	↓ 第四句…結句 (話をまとめる)	

※ 押韻 (おういん) … 同じ響きをもつ語の字を句末に用いること。絶句・律詩ともに、五言の詩は偶数句の末字に、七言の詩は第一句と偶数句の末字に押韻する。例外の詩もある。
杜甫の『絶句』では、第二句末の「然 (ぜん)」第四句末の「年 (ねん)」が押韻している。

漢文では、日本で読むときに読みやすくした訓読を理解することが大切です。訓読文から書き下し文にすると日本の古文のようになります。



漢詩は主に四つの形式がありますが、文字数と行数で呼ばれ方が変わります。また、絶句のそれぞれの行の名前と役割もあわせて覚えましょう。



チャレンジシート② きほん

学習日 年 月 日

単元	二年「いにしえの心を訪ねる」 「漢詩を読もう」	
氏名	年組番	11問

1 例にならって、□に読む順序を算用数字で入れなさい。

例 □ □ □ ↓ □₂ □₁

(1) □ □ □ □ □
 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 答え □ □ □ □ □

(2) □ □ □ □ □
 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 答え □ □ □ □ □

(3) □ □ □ □ □
 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 答え □ □ □ □ □

(4) □ □ □ □ □
 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 答え □ □ □ □ □

(5) □ □ □ □ □
 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 答え □ □ □ □ □

2 漢詩の形式について、次の説明に当てはまる語句を後から選び、記号で答えなさい。

(1) 四行の詩 (2) 八行の詩 (3) 一行が五字で四行の詩

(4) 一行が七字で四行の詩 (5) 絶句(四行詩)の一句目

(6) 絶句(四行詩)の三句目

ア 五言律詩 イ 七言絶句 ウ 七言律詩 エ 絶句 オ 五言絶句

カ 律詩 キ 起句 ク 結句 ケ 転句 コ 承句

答え (1) () (2) () (3) () (4) () (5) () (6) ()

単 元	二年「いにしえの心を訪ねる」 「漢詩を読もう」	
氏 名	年 組 番	5問

1 次の漢詩を読んで、後の問いに答えなさい。

絶句 杜甫

江は碧にして①鳥は逾よ白く

江碧鳥逾白 …… 起句

山は青くして②花は然えんと欲す

山青花欲然 …… 承句

③今春看す又過ぐ

今春看又過 …… 転句

何れの日か是れ帰年ならん

何日是帰年 …… 結句

(1) 漢詩「絶句」について、押韻している漢字を二つ書き抜きなさい。

答え () () () ()

(2) 「①鳥は逾よ白く」とあるが、鳥の白さをいっそう鮮やかにしているものは何か。漢詩の起句から一字ずつで書き抜きなさい。

答え () () () () ()

(3) 「②花は然えんと欲す」に従って、漢詩のこの部分に、送りがなとレ点を付け、訓読文にしなさい。

答え (花 欲 然)

(4) 「③今春看す又過ぐ」とあるが、この句から、作者のどんな気持ちが伝わってくるか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

答え () ()

ア 時の流れの早さに感動する気持ち。

イ 時の流れの早さにあせりを感じる気持ち。

ウ 時の流れの早さに悲しみを忘れる気持ち。

エ 時の流れの早さに圧倒される気持ち。

(5) この漢詩の形式を何というか。漢字四字で答えなさい。

答え () ()

単 元	年 組 番	問
二年 「類義語・対義語・多義語」 「熟語の構成」	氏 名	

類義語・対義語・多義語

- ☆類義語：似た意味をもつ語のグループ
 (例) 「裂く」「破る」、「手段」「方法」「仕方」、「安全」「無事」「平穩」「平安」など
- ☆対義語：反対の意味をもつ二語
 (例) 「上」と「下」、「暑い」と「寒い」、「貸す」と「借りる」、「生産」と「消費」など
- ☆多義語：一つの語で多くの意味や用法をもつ語
 (例) …「高い」①風鈴を高い所につるす。(位置)
 ②高い豚肉を買う。(値段)
 ③鐘の音が高く鳴り響く。(音量)

熟語の主な構成

- ★二字熟語の主な構成
- ① 意味が似ている漢字を重ねたもの
(例) 拡大 …… 拡(ひろげる) + 大(おおきい)
 - ② 意味が対になる漢字を重ねたもの
(例) 善悪 …… 善(よい) + 悪(わるい)
 - ③ 主語と述語の関係のもの
(例) 地震 …… 地が震える
 - ④ 下の漢字が上の漢字の目的や対象を示すもの
(例) 洗顔 …… 顔を洗う
(例) 登山 …… 山に登る
 - ⑤ 上の漢字が下の漢字を修飾するもの
(例) 軽傷 …… 軽い傷
(例) 激増 …… 激しく増える
- ★三字熟語の主な構成
- ① 漢字一字の言葉の組み合わせ
(例) 衣食住 …… 衣 + 食 + 住
 - ② 漢字一字の言葉と二字熟語の組み合わせ
(例) 大成功 …… 大 + 成功 不安定 …… 不 + 安定
- ※ 上に打ち消しの意味の「不・無・非・未」や下に「的・性・化」などが付いたものも多い。
- ★四字以上の熟語の構成
- ① 漢字一字の言葉の組み合わせ
(例) 春夏秋冬 …… 春 + 夏 + 秋 + 冬
 - ② 二字熟語の組み合わせ
(例) 課外授業 …… 課外 + 授業
 - ③ 漢字一字の言葉と二字熟語の組み合わせ
(例) 大雨注意報 …… 大雨 + 注意 + 報

類義語を身につけると、表現の幅が広がります。場面に応じて硬い印象の言葉やわかりやすい言葉を使い分けられるようになるといいですね。



熟語の構成を覚えておくと、知らない熟語に出会った時に、意味を想像しやすくなります。主語・述語(何がどうする)の関係なのか、上の漢字が下の漢字を修飾しているのかなどを、考える習慣がつくといいですね。



単 元	年 組 番	16 問
二年 「類義語・対義語・多義語」 「熟語の構成」	氏 名	

1 次の(1)～(4)の類義語を後の「 」から選び、それぞれ漢字に直して書きなさい。

(1) 賛成 〃 () (2) 欠点 〃 () (3) 用意 〃 () (4) 理由 〃 ()

「 ジュンビ タンショ ゲンイン ドウイ 」

答え (1) () (2) () (3) () (4) ()

2 次の(1)～(4)の対義語を後の「 」から選び、それぞれ漢字に直して書きなさい。

(1) 正常 ⇕ () (2) 需要 ⇕ () (3) 質疑 ⇕ () (4) 拡大 ⇕ ()

「 キョウキユウ シュクショウ イジョウ オウトウ 」

答え (1) () (2) () (3) () (4) ()

3 次の一線を付けた言葉の意味を、後から選び、記号で答えなさい。

(1) 話が弾み、帰りが遅くなった。

(2) 空気を入れたので、ボールがよく弾む。

(3) 家の手伝いをしたので、小遣いを弾む。

「 ア 物にあたりはね返る イ 勢いに乗る ウ お金を多く出す 」

答え (1) () (2) () (3) ()

4 次の熟語の構成を後から選び、記号で答えなさい。

(1) 着席 (2) 県立 (3) 創造 (4) 往復 (5) 新年

ア 上下の漢字の意味が似ている イ 上下の漢字の意味が対になる

ウ 上の漢字が下の漢字を修飾する エ 主語と述語の関係である

オ 下の漢字が上の漢字の目的や対象を示す

答え (1) () (2) () (3) () (4) () (5) ()

単 元	年 組 番	20 問
二年 「類義語・対義語・多義語」 「熟語の構成」	氏 名	

1 次の漢字の□に当てはまる類義語を書きなさい。

- (1) 思慮 〓□別 (2) 不足 〓欠□ 答え (1) () (2) () ()
- (3) 遺品 〓形□ (4) 作法 〓行□ (3) () (4) () ()

2 次の漢字の□に当てはまる対義語を書きなさい。

- (1) 緯度 ⇕□度 (2) 自然 ⇕□工 答え (1) () (2) () ()
- (3) 可決 ⇕□決 (4) 具体 ⇕□象 (3) () (4) () ()

3 次の熟語と同じ構成の熟語を、後から選び、記号で答えなさい。

- (1) 黒板 (2) 増減 (3) 消火 (4) 樹木 (5) 市営
- ア 勝負 イ 幸福 ウ 読書 エ 親友 オ 日没
- 答え (1) () (2) () (3) () (4) () (5) () ()

4 次の○には「不・無・非・未」のいずれかを、□には「的・性・化」のいずれかを入れて、三字熟語を作りなさい。

- (1) ○意味 (2) ○完成 (3) ○自由 (4) ○常識
- (5) 深刻□ (6) 理想□ (7) 可能□
- 答え (1) () (2) () (3) () (4) () ()
- (5) () () (6) () () (7) () () ()

単元名	年 組 番
二年 物語・小説 <small>(登場人物の気持ちを読み取る)</small>	氏 名
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: auto;"></div>	

◆物語を読むときには、登場人物の気持ちを考えながら読みましょう。

◇登場人物の気持ちを想像させる表現

- ① 会話・言葉遣い
「もうこれ以上走れないよ。」↓ あきらめ
- ② 人物のしぐさ・表現
哲男君の顔はみるみる赤くなっていった。 ↓ 恥じらい
- ③ 人物の行動
姉は トアを勢いよく閉めて、出て行った。 ↓ 怒り^{いか}
- ④ 気持ちを表す文末表現
これからはもっと練習しようと思った。 ↓ 決意



いろいろな描写から登場人物の性格を想像したり、会話や行動、表情に込められた気持ちを読み取ったりするといいですね。

行動を起こす前の場面や後の場面をよく読んでみることも大切ですね。そして、言葉の裏に隠された思いなどを想像することも大切ですね！

チャレンジシート② 基本1

単元名

二年 物語・小説
(登場人物の気持ちを読み取る)

年 組 番

氏 名

2問

問題

学習日

年 月 日

日

◇次の文章を読んで、後の問に答えましょう。

小学校五年生の時、私は、姉とけんかをして、姉の大事にしていたペンシルを捨てた。けんかをした理由は、姉が教えてくれていたバドミントンに対して真剣味が足りないとか、私の心構えが足りないとかいうことであつたと思う。しかし、姉が一方的に攻撃してくるような気がしてしまった。私の、反発がたまつてしまい、筆箱からペンシルを持ち出し、捨ててしまった。

姉がどんなに大切にしているても、姉に対する反発から衝動的にしてしまった。捨てた後は、姉の困つた顔が思い出され、せいせいした。これで、姉が落ち込んでしまうと思うと心が（ ）として来るのだった。

しかし、その後が大変だった。いい気持ちになつたのはその時だけで、大変なことをしてしまつたという、後悔の念がおこつて来た。

1 ————— 線部「ペンシルを捨てた」直後の「私」の気持ちを、文章中から書き抜きましょう。

()

()

2 () () に当てはまる言葉として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

()

()

ア いらい

イ 冷え冷え

ウ 晴れ晴れ

単元名	年 組 番	2問
二年 物語・小説 <small>(登場人物の気持ちを読み取る)</small>	氏 名	

◇次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

「そんなけり方では、カーブしないよ」

壮太は夕日を背に立っている相手を見た。影が、スカートをはいているのに驚いた。

仁王立ちしている態度でスカートをはいていなければ、年上の男の子にしか見えない。同じ学校では見かけない顔だ。

「何か、僕に用なのか？」

壮太は驚かされたことにいら立って、（ア） 言った。

「だから、そんなけり方では、カーブしてゴールに入って行かないって言うてるんだ」

相手も怒ったように言い返した。

壮太はたじろいだ。しかし、相手が自分と年がそう変わらない少女だということに気が付いて、

「ほっとけ」と怒鳴り返した。

1 (ア) に当てはまる言葉を、次から一つ選び記号で答えなさい。

ア おずおずと

イ うきうきと

ウ ぶっきらぼうに

エ 穏やかに

2 「たじろいだ」とありますが、このときの壮太の気持ちを説明した次の文の□に入る言葉を文章中から六字で書き抜きなさい。

相手に

返事をされて、おじけづいている。

